

水稻（品種：ちば28号（愛称：ふさこがね））

海匠農林振興センター

1 地区名（集団名）

匝瑳市（そうさの米研究会）

2 栽培戸数、面積、収穫量又は出荷量、出荷先又は販売方法

- (1) 栽培戸数 3戸
- (2) 栽培面積 126 a
- (3) 収穫量又は出荷量 7.74 t 615kg/10 a
- (4) 出荷先又は販売方法 直売

3 ちばエコ基準達成状況

区 分	実施状況	ちばエコ基準
化学合成農薬(成分回数)	6回	7回
化学肥料（窒素分量）	1.2kg/10a	4.5kg/10a

4 事例のあらまし

「そうさの米研究会」では、大粒でいもち病に強い特徴のある「ちば28号」の普及拡大を図るため、「ちばエコ農業」産地拡大スピードアップ支援事業を活用した展示ほを設置し、技術確立に積極的に取り組みました。

栽培方法は、窒素量を減らし、食味重視を基本に、有機肥料の利用と農薬を減らす栽培で、安心して消費者に提供できる米づくりに取り組みました。その結果、日照不足により穂数が少なかったものの、登熟歩合は91.6%、玄米千粒重は22.9gと大きめでした。また、収量は、10 a 当たり570kgを確保しました。

5 背景・動機

「そうさの米研究会」では、千葉県奨励品種「ちば28号」のみを使用して、病気に強い特性を生かし千葉県認証の減農薬・減化学肥料栽培を実施することで大粒でおいしさにこだわったお米を目指しています。

また、匝瑳市の新しいブランド米として、「匝瑳の舞」（商標登録申請中）としました。

「匝瑳の舞」の生産基準は、

- ① ちばエコ農産物に認証された安全安心米
- ② 品種は食味の良い「ちば28号」

- ③ 選別網目2.0mmで粒揃いの良いもの
- ④ 農産物検査で一等となったもの
- ⑤ 食味値の高いもの



そうさの米研究会員の皆さん



「匠瑳の舞」展示ほ場の現地検討会

6 栽培方法

有機物を中心とした施肥と温湯消毒による農薬の削減を図りました。

(1) 土づくり

稲わらと発酵鶏糞を施用し、水田土壌の地力向上を図りました。

(2) 種子消毒

温湯消毒による種子消毒を60℃で10分間実施しました。

(3) 播種

育苗箱1箱当たり150g(乾糶換算)と播種量を少なくして健苗育苗に努めました。

(4) 施肥

発酵鶏糞による土づくりと併せて化学肥料の減肥と有機配合肥料の利用を図りました。

(5) 薬剤防除

病虫害防除は、田植当日に害虫対策として育苗箱施用農薬を使用しました。

雑草防除については、田植後にフロアブル剤を散布しました。

(6) 田植え

植付適期の稚苗の機械移植を行ないました。

(7) 水管理

中干しや落水などの管理は、慣行栽培に準じて行ないました。

ア 栽培管理

作業名	実施年月日
前作収穫終了	平成18年 9月 3日
耕 起	12月10日
播 種	平成19年 3月28日
田 植	4月23日
病虫害防除	4月23日
除草剤散布	5月 7日
収穫開始	9月 3日

イ 使用資材

(ア) 土づくり・施肥等

(10a当たり)

使用銘柄 (N:P:K)	実施年月日	施用量	全 N	化学N
稲わら	平成18年12月10日	0.5t		
乾燥鶏糞	平成19年 3月10日	120kg	6.09kg	
マイルドコート200	4月10日	20kg	2.40kg	1.2kg
合 計			8.49kg	1.2kg

(イ) 病虫害・雑草防除等

使用農薬	対象病虫害	実施年月日
ギャング粒剤 (2成分)	イネミズゾウムシ・イネドロ オイムシ・イネヒメハモグリ バエ	平成19年 4月23日
オークスフロアブル (4成分)	水田一年草水田雑草、ホタル イ、アオミドロ・藻類による 表層はく離	5月 7日

(8) 収 穫

帯緑色籾歩合15%を目標に登熟歩合の向上を目指して適期収穫を行ないました。

(9) 乾燥・調整

「匠瑛の舞」は、選別網目2.0mmで粒揃いの良いものとししました。

7 今後の展望等

「そうさの米研究会」では、倒伏及びいもち病に強く、高温登熟性に優れ、大粒で良食味としての品種特性を持つ「ちば28号」を、匠瑛市のブランド米「匠瑛の舞」としました。

また、「匠瑛の舞」の食味向上を図るため、「ちばエコ農業」基準による技術展示ほを設置し、現地検討会を実施しました。今後、生産集団や認定農業者を中心とした研究会

員によるちばエコ栽培の拡大が期待されます。

販売面では、差別化商品としての米の有利販売につなげるように検討するとともに、「匠差の舞」の販路拡大を図っていくために、県のホームページや各種販促による広報活動を行っていきます。

さらにJ Aや市・研究会等が連携して匠差市のブランド米確立のために支援を続けて行きます。